ロックウールボード認定仕様書

国土交通大臣認定

認定番号　ＰＳ０６０ＦＬ－０３６４（床）

関西パテ化工株式会社

認　定　書

国住指第　１２０　号
平成 19 年 6 月 15 日

関西パテ化工株式会社
代表取締役　川上　好光　様

国土交通大臣　　冬柴　鐵三

下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第６８条の２６第１項~~（同法第８８条第１項において準用する場合を含む。）~~の規定に基づき、同法施行令第１２９条の２の５第１項第七号ハ［防火区画貫通部１時間遮炎性能］の規定に適合するものであることを認める。

記

１．認定番号
　　ＰＳ０６０ＦＬ－０３６４

２．認定をした構造方法又は建築材料の名称
　　バスダクト・ケーブル／表面処理ロックウール保温板・けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

３．認定をした構造方法又は建築材料の内容
　　別添のとおり

（注意）　この認定書は、大切に保存しておいてください。

別　添

1. 構造名：
バスダクト・ケーブル／表面処理ロックウール保温板・けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表１に示す。

表１　申請仕様の寸法

項　目		申　請　仕　様
開口部	形状	矩形
	面積	0.6㎡以下
占積率 (開口面積に対するバスダクト・ケーブルの断面積の総合計の割合)		14.9%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート　厚さ100㎜以上（中空床を除く）

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表２及びバスダクト・ケーブルの構成材料を表３に示す。

表２　申請仕様の主構成材料

項　目		申　請　仕　様	
耐熱シール材	材料	けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム･水酸化アルミニウム材	
	密度	1.35±0.1g/cm^3	
	組成（質量%）	難燃材 （水酸化マグネシウム･水酸化アルミニウムの金属水和物） 無機質バインダー（けい酸ナトリウム系） 繊維類（ガラス繊維） その他（分散剤、着色剤、膨張剤及び安定剤）	76.8以上 8以下 2 13.2
	総発熱量	48MJ/m^{2}以下	
	充てん量	隙間が無いよう密に充てん（隙間に奥行き30㎜以上、幅15±5㎜）	
仕切板	材料	表面処理ロックウール保温板	
	厚さ	43㎜以上	
表面処理	材料	アクリル系樹脂混入水酸化アルミニウム材	
	組成（質量%）	難燃材（水酸化アルミニウム） 有機質バインダー（アクリル系樹脂エマルション） その他（分散剤、消泡剤及び増粘剤）	83 14 3
	厚さ	3㎜	
基材	材料	ロックウール保温板（JIS A 9504）	
	厚さ	40㎜以上	
	密度	125kg/m^{3}以上	
バックアップ材	材料	ロックウール保温板（JIS A 9504）	
	密度	125kg/m^{3}以上	
	用途	仕切板の基材を用いてバスダクト及びケーブル周辺部の耐熱シール材のバックアップ材として使用（隙間に奥行き10㎜以上）	
鋼製スリーブ	材料	Aタイプ 本体：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101） フランジ部：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101） リベット：冷間成形リベット（JIS B 1213） 太さ φ3.2㎜以上、　間隔 50㎜以下 Bタイプ 一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）	
	寸法	Aタイプ又はBタイプ　（図2参照） 矩形：1200×500㎜以下 厚さ：1.6㎜以上	

表３　申請仕様のバスダクト・ケーブルの構成材料

項　目	申　請　仕　様		
バスダクト	材料	バスダクト（JIS C 8364）	
	導体の断面積	2400mm^2 以下（1枚あたり）	
	導体	JIS C 8364 に規定するもの（アルミニウム、銅等※）	
	絶縁体	JIS C 8364 に規定するもの （ポリエチレン、ポリエステル等※）	厚さ　0.75㎜以下
	外箱（ダクト）	JIS C 8364 に規定するもの（アルミニウム、鉄等※）	
	※印の等とは、JIS C 8364 に規定する材料を示す		
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	100mm^{2}以下（１本あたり）	
	導体（又は芯線）の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材料	
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ　2.0㎜以下
		塩化ビニル系	厚さ　2.0㎜以下

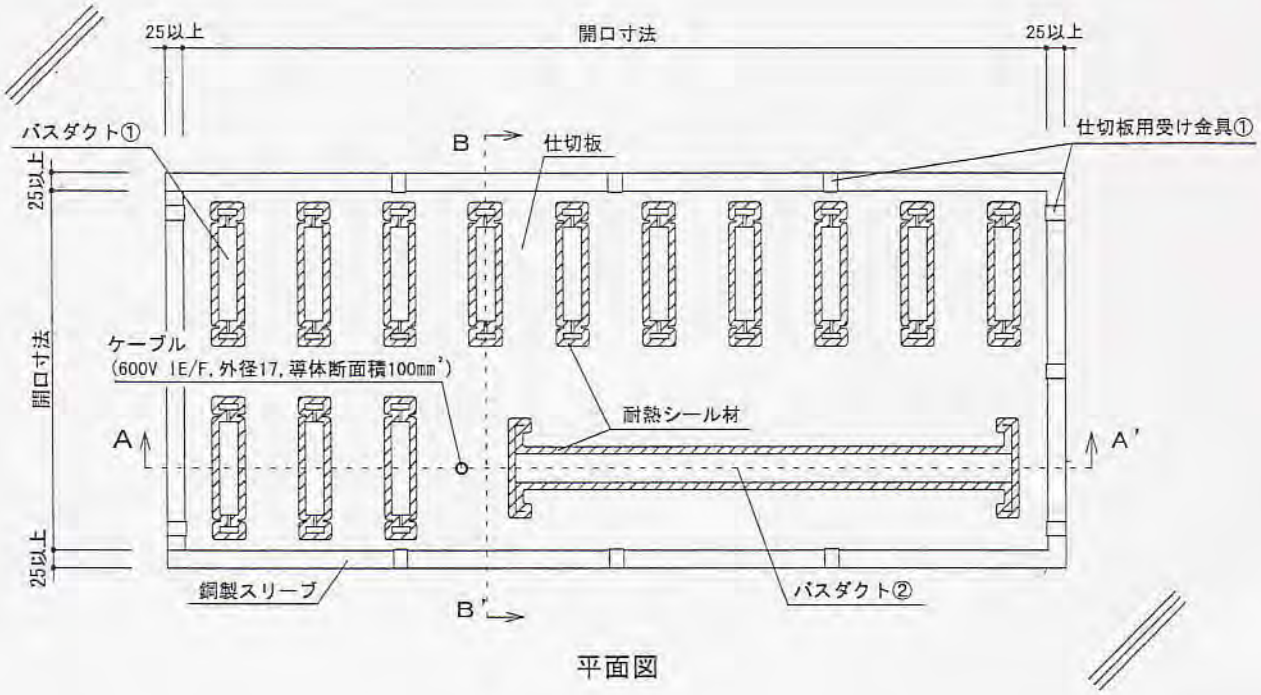
4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表４に示す。

表４　申請仕様の副構成材料

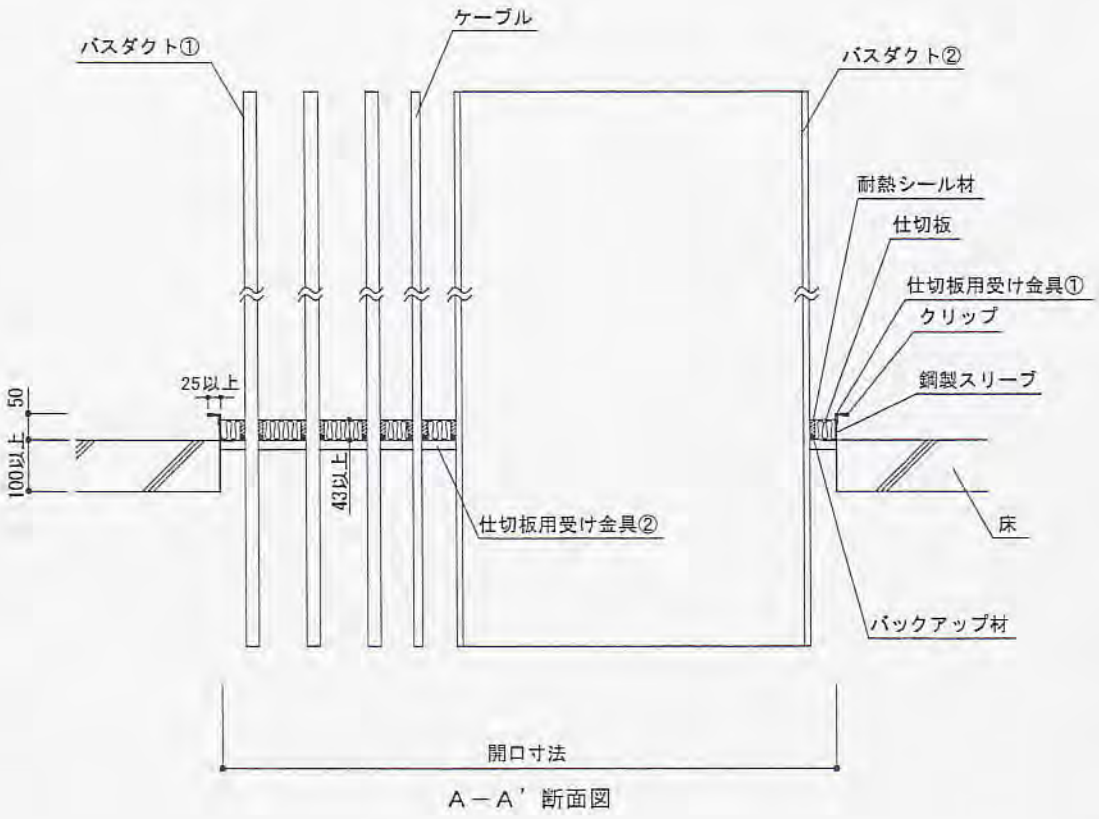
項　目			申　請　仕　様	
仕切板用受け金具 (図4参照)		①	材料	鋼製
			厚さ	1.6mm以上(Z形状)
		②	材料	鋼製
			寸法	幅25×高さ19mm以上、厚さ0.5mm以上
連結金具	クリップ留付の場合		材料	鋼製
			厚さ	0.27mm以上
	ねじ留付の場合		材料	ドリリングタッピンねじ (JIS B 1125)
			寸法	φ3×長さ14mm以上（連結金具用）
			用途	仕切板用受け金具①と鋼製スリーブとの連結用

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm



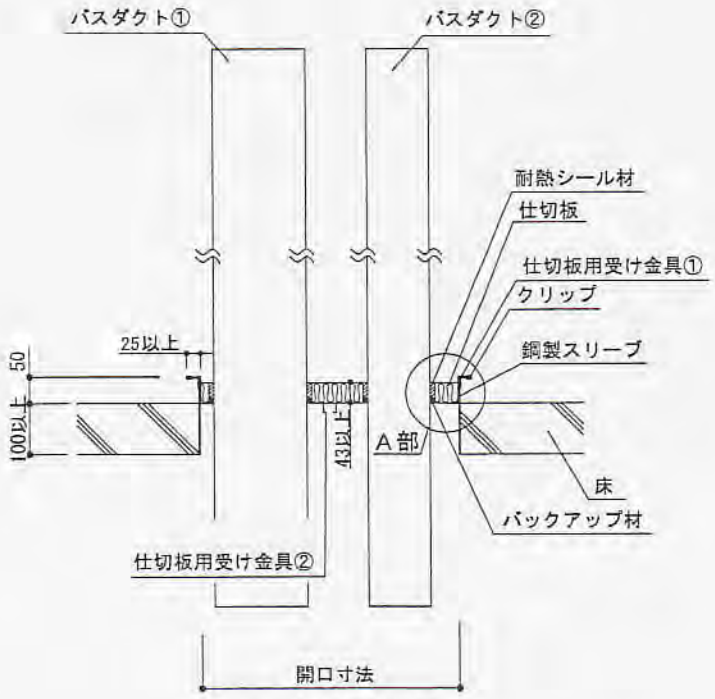
平面図



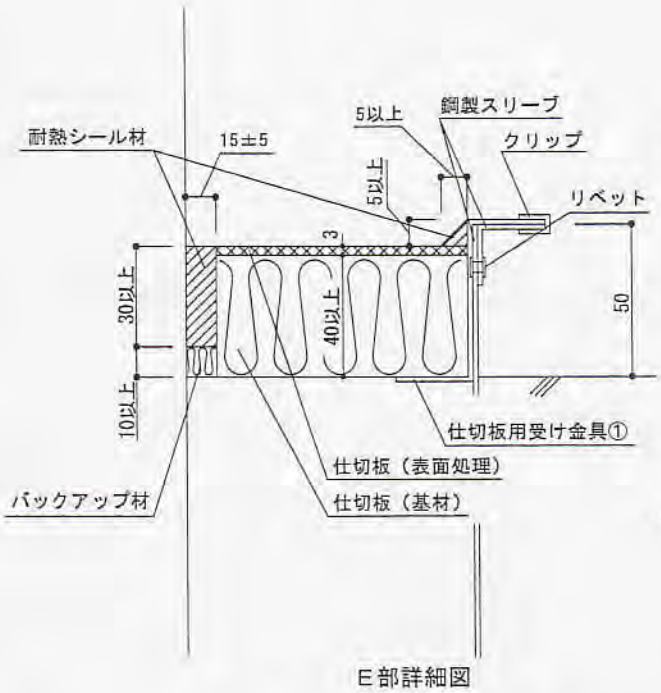
A－A' 断面図

図１　構造説明図

単位 mm

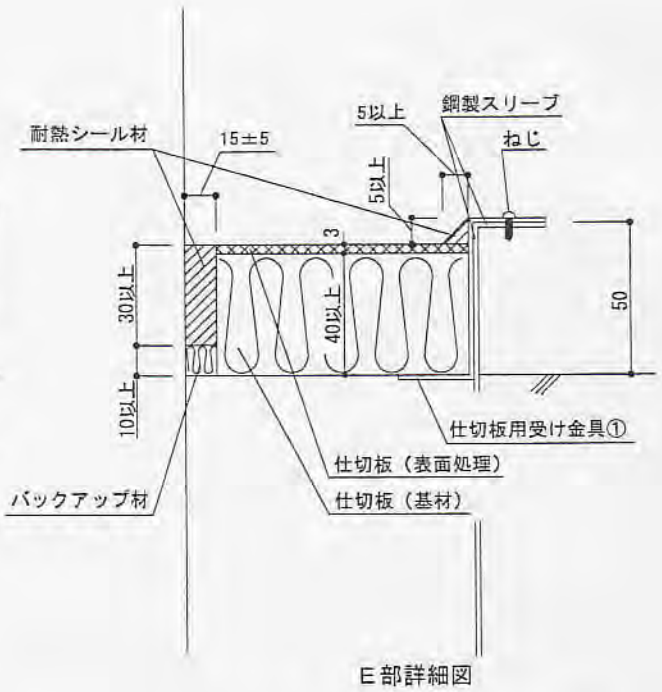


B－B’ 断面詳細図



E部詳細図

鋼製スリーブ（Aタイプ）・クリップ留付の場合



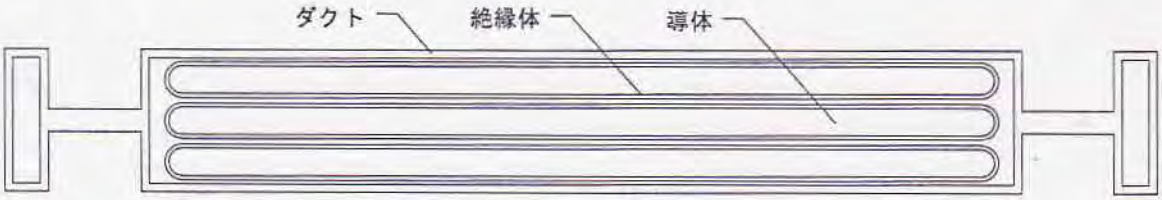
E部詳細図

鋼製スリーブ（Bタイプ）・ねじ留付の場合

A部詳細図

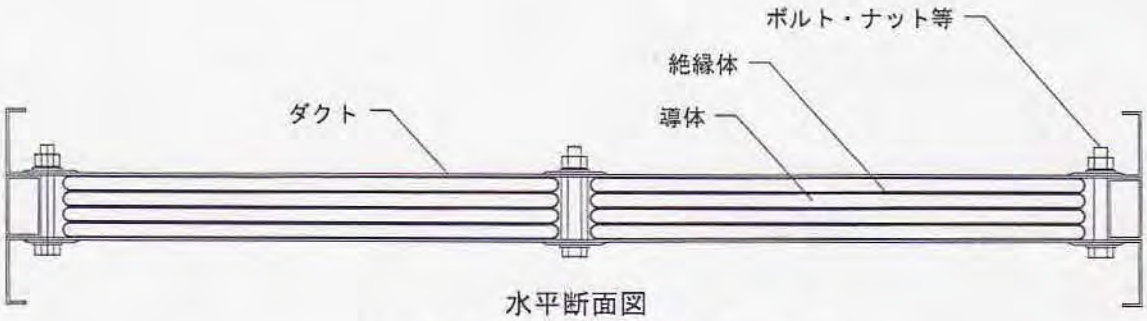
図２　構造説明図

単位 mm



水平断面図

バスダクトの断面詳細図（一例：①）

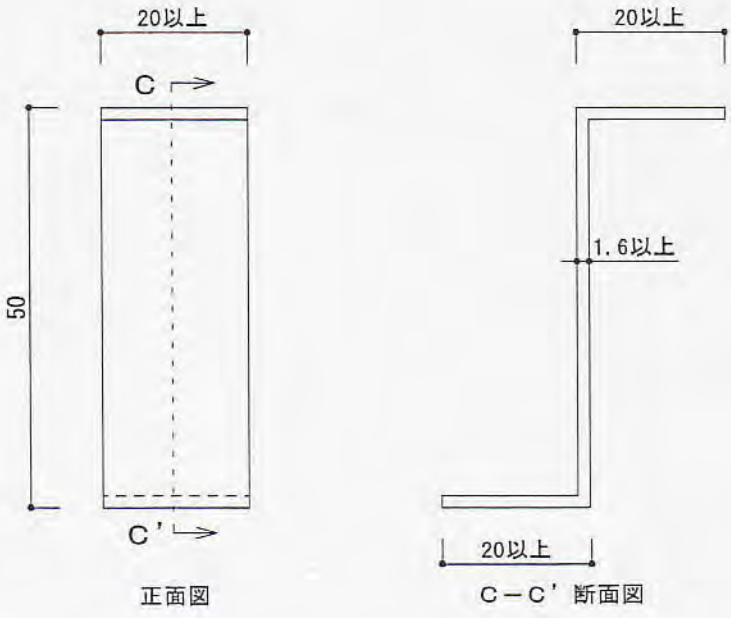


水平断面図

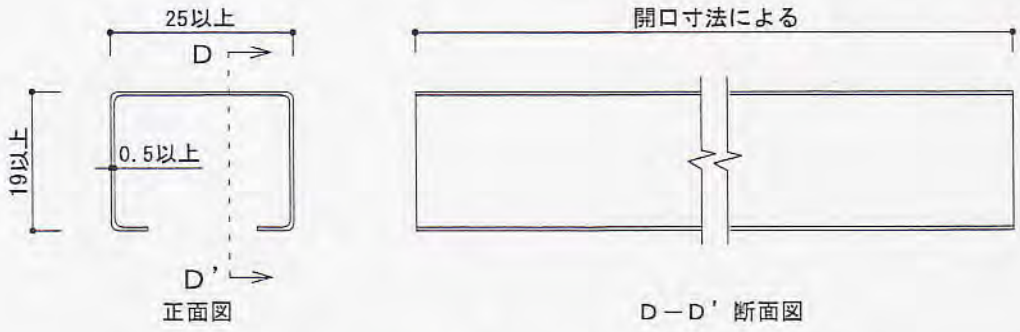
バスダクトの断面詳細図（一例：②）

図３　構造説明図

単位 mm



仕切板用受け金具①



仕切板用受け金具②

図４　構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図5に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 鋼製スリーブを床板の所定の位置に埋設する。

(2) 開口部の確認及び清掃

開口面積、バスダクト及びケーブルの占積率及び床板厚等が申請仕様に適合しているかどうかを確認する。

さらに、バスダクト及びケーブルに付着した汚れ等がある場合、あらかじめウエス等で除去する。

(3) 仕切板用受け金具の取付け

受け金具を所定の位置にセットし、鋼製スリーブ上部のリブ部でクリップ留付け若しくは、鋼製スリーブ上部のリブ部にねじで留付ける。

(4) 仕切板の切断加工と取付け

仕切板をバスダクト及びケーブルの寸法・形状にあわせて切断する。その際仕切板とバスダクトの接触部の隙間の寸法は規定値に設定し、又開口部との接触面については、隙間を生じない様に切断したのち開口部内に仕切板を取付ける。

(5) 耐熱シール材の脱落防止用のためのバックアップ材（ロックウール）の充てん

耐熱シール材の脱落を防止するためのバックアップ材（ロックウール）をバスダクト又はケーブルと仕切板との隙間に上部から押し込み密着させる。

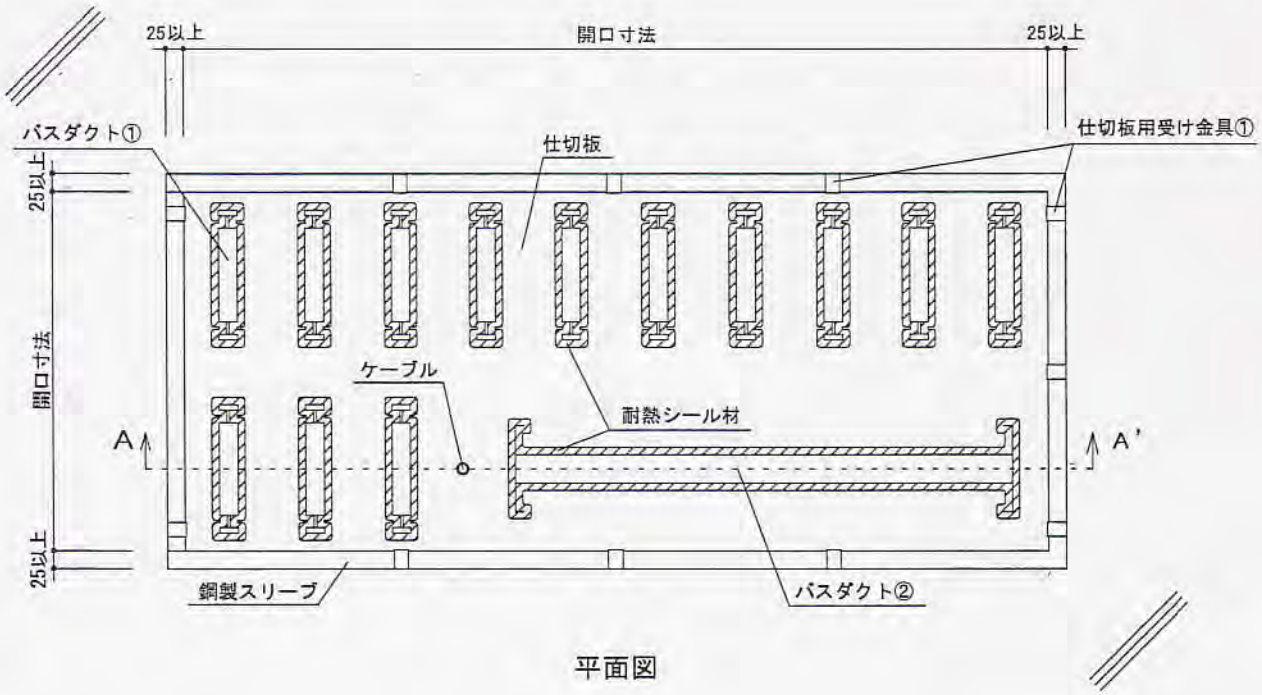
(6) 耐熱シール材の充てん

バックアップ材の上部に、耐熱シール材を隙間が無いよう密に充てん(隙間に奥行き30㎜以上、幅15±5㎜程度）する。また、鋼製スリーブと仕切板との接続部にも、耐熱シール材を盛り上げる。

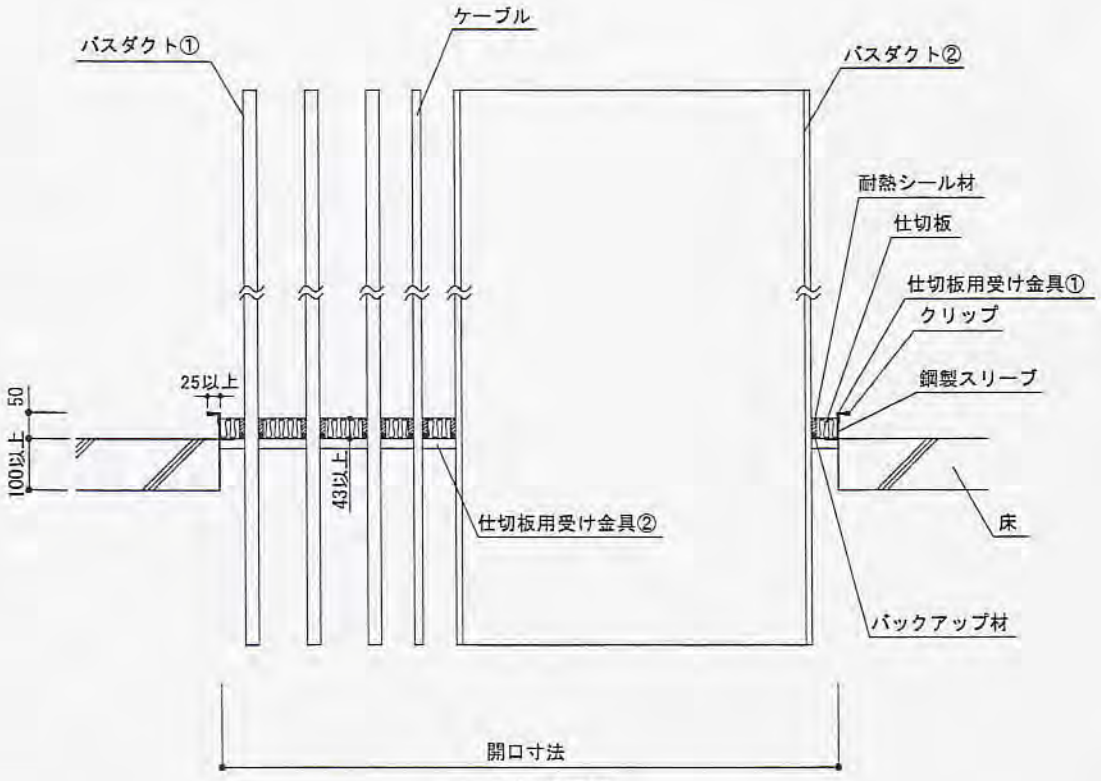
(7) 最終チェック

ひびわれ、盛上げムラ等の異状をチェックする。

単位 mm



平面図



A－A' 断面図

図５　施工図